

山梨県バス交通ネットワーク再生計画（H29.3）に基づく再編とバス路線の維持

既存の広域的・幹線的
路線の運行等支援

バス運行対策（赤字バス路線対策）費補助金 【84,684千円】

- ・ 既存の広域的・幹線的路線の運行や車両購入に対し支援
 - ・ 4事業者が運行する県内24路線
- ⇒**コロナの拡大によるバス事業の状況を鑑み、補助要件の緩和や算出方法の変更など補助金交付要綱を改正**

広域的・幹線的路線に
準じる路線の運行支援

市町村自主運営バス補助金 【43,943千円】

- ・ 廃止代替バス路線（54路線）の運行や車両購入に対し支援

廃止路線代替バスの
運行等支援

バス交通ネットワーク再生事業費補助金 【763千円】

- ・ バス交通ネットワーク再生計画に基づき新設した路線（1路線）の運行に対し支援

計画に基づき新設される
広域的路線の運行支援

生活バス路線維持費補助金 【1,016千円】

- ・ 広域的・幹線的路線に準じる路線（1路線）の運行に対し支援

計画に基づく再編の成果

広域的路線

広域交通空白地域の解消

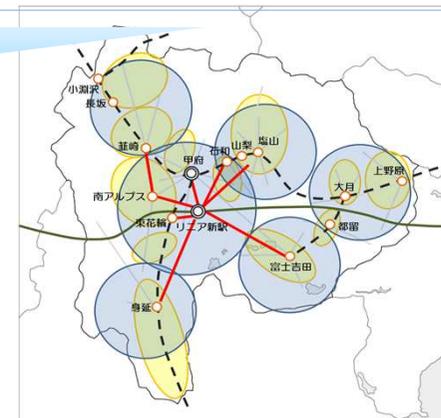
広域的路線の利便性向上

地域内路線

広域的バス路線・鉄道との接続強化

移動目的地との接続強化

バス交通ネットワークの維持



広域的路線・地域内路線の改善、バス相互・鉄道との効率的乗り継ぎによる**利便性の高い交通ネットワークの実現**

対応すべき課題解決①

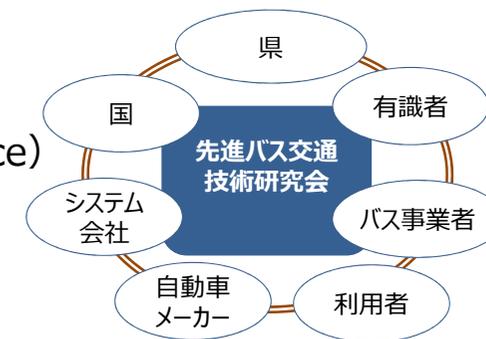
◆ リニア開業に向けて先進的なバス交通技術の導入を図るための取り組みを行う。

○先進バス交通技術導入促進事業費

当初予算 468千円

【これまでの取り組み】

○「山梨県先進バス交通技術研究会」をH30.6に設置し、先進バス交通技術の導入に向けて、先進地の視察等により自動運転に関する情報収集を行うとともに、MaaS(Mobility as a Service) についての情報収集と導入に際しての課題等を関係者等と研究を行った。



【令和元年度、2年度の取り組み】

○4つのプロジェクトチーム（自動運転、燃料電池バス、AIを活用した交通技術、MaaS）を設置

- ・自動運転（関係者の事例発表、実証実験の視察結果の報告）
- ・燃料電池バス（燃料電池バスのデモ走行の課題検討）
- ・AIを活用した交通技術（北杜市の取組発表、先進地視察の報告）
- ・MaaS（観光MaaSの整備に向けた検討）

自動運転
技術等の先
進交通情報
の蓄積

実証実験等
の視察を通
じたノウハウ
の蓄積

○先進地視察や実証実施の視察を実施

- ・愛知県豊明市（「チョイソコとよあけ」の取り組み）
- ・茨城県日立市（BRT路線における中型自動運転バスの実証）
- ・長野県塩尻市（市街地の一般公道の自動運転の走行実証）



※「リニア駅前エリア整備検討会議」（後述）をR2.7に設置し、リニア駅～身延線小井川駅間のシャトルバス導入に向けた検討を行っている。

対応すべき課題解決②

◆交通空白地における高齢者等の交通弱者の移動手段の確保のため新たなサービスの導入が必要。

○ 交通弱者移動支援サービス導入事業費

当初予算 1,713千円

【これまでの取り組み】

○「多分野連携・次世代型交通サービス検討会議」を3回、分科会を2回開催し、県内の公共交通を活用する取り組みや公共交通を補完するための新たな交通サービスを検討した。

【令和元年度、2年度の取り組み】

○既存公共交通がカバーしきれていない交通空白地に住む高齢者等の移動手段の確保に向けて、公共交通を補完する新たな交通サービス導入に向け、セミナーを開催するとともに補助事業を実施

・セミナー

＜目的＞

交通空白地における公共交通を補完する新たな交通サービスの必要性について理解を促進

＜概要＞

新たな交通サービスに関する制度の説明や移動支援に取り組む実施主体からの講演

＜対象者＞

市町村、社会福祉協議会、NPO法人、旅客運送事業者等

・交通弱者移動支援サービス導入事業費補助金

＜補助先＞ 市町村、NPO法人等

＜補助対象＞ 備品購入費、運転者講習代等

＜補助率＞ 1/2（300千円上限）

※令和元年実績：北杜市

公共交通を補完する交通サービスの実施イメージ

